

## 経済産業省 令和元年度「サポイン」採択決定

### ――剛性と靱性を両立させた 革新的複合材料による 蒸散冷却建材の研究開発――



さて、時代（元号）も新たな令和元年6月4日。一本の電話で、当社の令和のスタートは、大きな応援を得ることとなりました。「採択されました！今中小企業庁のホームページで公表されました！」と電話。4月に応募提案していた、令和元年度「戦略的基盤技術高度化支援事業（通称：サポイン）」の審査結果の公表が経済産業省中小企業庁のホームページ（右参照→）で発表され、それを応援してきて下さった方からの電話でした。当社にとっては、客観的な外部評価の一つとして、大きな励みにもなります。

### 【サポインとは】

研究開発を行うものづくり中小企業の間では、採択は難関として応募自体をためらう企業も多いと言われるサポインとは、何でしょうか。

「サポインとは、『サポーターティング インダストリー』の略で、日本の製造業を支える中小企業のものづくり基盤技術のことを指しています。経済産業省では、サポインの高度化につながる研究開発の取組を支援しています。」（中部経済産業局HPより抜粋）

今回当社が採択されたサポイン事業とは、「ものづくり基盤技術の高度化・新技術の開発に向けて、中小企業者が川下企業や研究機関等と協力して行う研究開発を国が資金的に支援するものです。サポイン事業の実施にあたっては、『中小企業ものづくり高度化法』に基づく事業計画認定を取得したうえで、事業提案に係る採択審査を経ております。・・・」（同上）

### ～トップランナーが挑む。 建物が自然の力でCOOLになる もっと軽くて人に優しい建材を創る挑戦～

### 【採択内容】

当社提案の採択内容の概要は、現在の当社屋上用蒸散冷却建材「エスコン」（屋上防水層の上にその保護をかねて敷設、雨水等を保（貯）水、効率よく表面積の大きいパネル上面に水を運び蒸散することで建物の熱を冷却する新しいコンセプトの建材パネル・下記参照）の、「超軽量化・高強度化」を目指す研究開発です。現在、試作品段階ですが、2年間のサポイン事業を活用し実施するものです。建築材料としての広い可能性も追求します。

### 【オープン・イノベーションのお誘い】

私たちは、なるべく早くこの新しい環境建材（自然の力を強く活かした省電力性の蒸散冷却建材）を、特に冷却を必要とするような（データセンター・



（←（上）経済産業省中小企業庁、  
↓（下）経済産業省中国経済産業局の採択発表ホームページ）

### 冷凍冷蔵倉庫・工場・商業施設等） 建物の省エネルギーや環境対策に 役立てて頂くため、製品提供スピード

を上げたいと考えており、その方法の一つとして「オープン・イノベーション」を志向しています。

具体的には、例えば、次のようなことに関心がある、または課題をお持ちの企業様は、ご一報戴き、共に発展する道を前向きに協議致したく存じます。

- こういう建物で新建材の屋上への導入を検討したい。（場合によっては、実証試験も一緒にしてみたい。）
- 建築物のZEB化提案に取り組んでおり、新たな手法も取り入れたい。
- 人にも優しいパッシブな建築物冷却方法に関心がある。 など・・・

### 【その他 当社独自開発 春～秋おすすめ商品】

また、当社の環境・バイオシステム事業部の自社開発商品には、下記のようなものもございます。いずれも特許登録された当社独自の技術によるシステムです。詳細資料がご入用の方は、どうぞお気軽に、お電話（TEL：0835-22-4787）・メール（info@kaisuikagaku.com）まで、ご請求下さい。

概算見積・資料請求承ります  
現在予約販売中

## エスコンB-30

軽量・高保水 ノンメンテナンス省エネ  
屋上除熱・蒸散冷却建材

【ご利用シーン】

- RC造建物の屋上に
- 防水層の長寿命化に
- 最上階の熱暑対策に  
オフィスビル/フォーム/新築等



## 軽量屋上緑化システム

芝生開発メーカーが考えた 植物生理  
に寄り添った 軽量・省エネ屋上緑化

【選択商品】

- 自由な形状の屋上緑化  
→ESGreen Basic
- 超軽量の外断熱+屋上緑化  
→ESGreen NEO



## 常緑性芝スクラム

芝の息づかいを一緒に楽しめる芝

【来春出荷予約は お早めに】

- 在来コライより緑葉期間が長い
- 使うための芝に適する  
⇒ 人・生活を育む、メモリアル公園  
・校庭・スポーツターフ等に。

芝広場を育ててみませんか？



### 編集後記

新聞等で、カラフルなマークや言葉を見ることが増えてきた「SDGs」（イフ・イージ・ズ・Sustainable Development Goals）。2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標のことで。今年1月の外務省資料より）17色のとてもカラフルな丸いマークは、この17の国際目標を表現した色なんです。私はやっ！勉強し始めにあたり、会話のきっかけにと早速パッチを取り寄せ、胸につけて社外の会議等出ましたが、まだ誰も気づいていただけません（笑）。ですが、当社の事業目的でもある「QOL（生活場・人生の質）の向上」にも通ずるものがあり、今わくわくする社会の動きの1つです。引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。（K.T.）

